

私の留学体験記

広島県立安古市高等学校 2年 野上 朋花 (のがみ ともか)

留学期間 平成30年7月26日～平成30年8月11日 (17日間)

留学先 セントジョーンズグラマースクール (アデレード, オーストラリア)

私はオーストラリア滞在の約2週間で新しいことにチャレンジすることの素晴らしさを改めて実感しました。

最初のうちは、上手く英語を伝えようとして、言葉に詰まったり、表情がでないことが多かったりもしました。また、自分のやりたいことはあるのに、それを英語で伝えることができないために、発言するのをためらい、流されるままに過ごしていたように思います。ただ、それでは、自分が留学した意味がないのではないかと思い直し、諦めずに相手が何を言おうとしているのかを考えながら聞き、身振り手振りと表情で伝えることも心がけました。それから、ホストファミリーに自分がやって欲しい事を伝えたり、学校でも積極的に友達との会話に入って話したりしました。また、姉妹校に留学している学生と行う、「海洋プラスチックごみ」についてのパネル・ディスカッションにも参加しました。その場でも、調べたことを発表することができました。勇気を出して新しい事にチャレンジしたことで、それが伝わった時はすごく嬉しかったです。たとえば、文化や言語が違ってても、自分から伝えようとする事、そして、自ら一歩踏み出すことで自分が得ることが出来るものは大きく違ってくることを感じました。

また、オーストラリアに滞在する中で、日本について伝える事の難しさも実感しました。初めは、オーストラリアに留学しに来た側として、オーストラリアのスポーツや料理、現地ならではの言葉などたくさんの事を教えてもらいました。しかし、そういう話をする中で、「日本ではどうなの？」と聞かれることも増えました。その時感じたのは、日本についてもっと知らなければならぬということです。そして、その文化を英語で伝えることができるかという事も重要だと思いました。実際に、「いただきます」という言葉の意味や、和歌、柔道について聞かれた時は、少し困りました。まずは、自分がそのことについてよく知っていなければなりません。しかし、私はあまり詳しくなく、上手く説明することができなくて、悔しい思いをしました。外国へ行く時は、自分が教えてもらう側にばかり立つのではなく、日本について知ってもらうために、自分も教える側に立とうという気持ちが大切だと感じました。

今回の留学を通して、私は、今までにやったことがないことにたくさんチャレンジしたことで、様々な素晴らしい経験をすることができたと思いました。